

スマートフォンでの記事の見せ方を説明する古田大輔編集長＝東京都千代田区で



ふるた・だいすけ 1977年、福岡県生まれ。2002年、朝日新聞社に入社。社会部、アジア総局（バンコク）、シンガポール支局長、デジタル編集部などを経て、インターネットメディア「BuzzFeed Japan」に入社。設立11カ月で、月間訪問者数が1600万人を突破した。

# 濃密な情報 提供に工夫を

新聞記者からインターネットメディア「BuzzFeed Japan」の創刊編集長に転身した古田大輔さん(39)。同社は、IT大手ディー・エヌ・エー(D eNA)が運営する医療系情報サイトの記事の不正確さや著作権などの問題を追った報道で大きく注目された。新聞とネットメディアの両方を知る古田さんに、新聞との関わりを聞いた。(長田真由美)

## 「BuzzFeed Japan」創刊編集長 古田大輔さん

新聞社に十三年勤め、二〇一五年十月にネットメディアの編集長に就任しました。実は子どものころ、新聞を読んでいた覚えがないんです。最初の記憶は大学生。お金がなく一人暮らしの部屋は夏は暑くて冬は寒かった。社会問題に関心を持っていたこともあって、朝八時から大学図書館で新聞を読んでいた。

### 読んでますか?

まだインターネットが普及していない時代。新しい情報を網羅的に知ろうと思うと、新聞しかありませんでした。拓銀(北海道拓殖銀行)や山一証券が破綻したことで、不良債権の問題が深刻化。失われた十年と言われ、日本がたがたになった。将来、ライタ―として、見たことを人に伝えたいという思いもあって、新聞に目を通していました。ふだんは全国紙や経済紙など五紙をざっと読みます。新聞は情報の見取り図。新聞社が何を重要な情報と考えているのか、一番大きく扱う記事は何か。複合的に一日の情報を摂取できます。全国紙は四十ページで大体二百の記事が載っています。それ

る時代。それに慣れた世代に紙を購読してもらうのは難しいでしょう。ネットはどの記事がどれだけ読まれ、どの段落にどれだけ読者が滞在したかまで計測できます。たくさん読まれたからそれがいい、という話ではありませんが、読者の反応から学び、より良いコンテンツを生み出す。紙のメディアはそれができていないのでしょうか。

若年層が新聞を購読しないという話は、何十年前前から出ています。どうすればいいか。スマホしかありません。そこでみんなが情報を得ているのだから、僕もそうですが、朝起きてチェックし、夜寝る瞬間までずっと見ている。新聞社の取材網、コンテ

だけ読むとするとネットでは最低二百回クリックしなくてはならない。新聞は見出しだけなら三分で読めます。その点では優れた媒体です。ネットメディアと比較すると、記者も多い。運動部や文化部などあらゆる分野に担当者がいる。全国紙なら津々浦々、ブロック紙や地方紙ならその地域で最も濃密な取材ができます。

でも、部数は落ちています。スマートフォンでいつでもどこでも情報を受信・発信できる時代。それに慣れた世代に紙を購読してもらうのは難しいでしょう。ネットはどの記事がどれだけ読まれ、どの段落にどれだけ読者が滞在したかまで計測できます。たくさん読まれたからそれがいい、という話ではありませんが、読者の反応から学び、より良いコンテンツを生み出す。紙のメディアはそれができていないのでしょうか。

新聞社には、ネットメディアは新聞記事をコピーして書いているという認識の人もまだいる。変えた方がいい。オバマ米大統領(当時)が来日したとき、僕もホワイトハウス記者団に同行して取材しました。記者団の控室に行ったら、ニューヨーク・タイムズやワシントン・ポストと一緒にBuzzFeedやハフィントン・ポストなどの席がある。ネットメディアの大手は新聞社と同じ扱いをつけています。いずれ日本も、アメリカと同じようになる。紙もネットも同じメディアとして、互いに良いところを学びながら成長できたらと思います。

新人記者は、各地に置かれた支社や総局、支局に配属されると、警察署を担当し、事件や事故を取材します。なぜ警察取材からでしょう。取材の現場で、警察署に「ママに顔を出すのも大事な仕事だぞ」と言われる。でも事件の現場で、警察署に「ママに顔を出すのも大事な仕事だぞ」と言われる。でも事件の現場で、警察署に「ママに顔を出すのも大事な仕事だぞ」と言われる。

原稿の締め切り時間が迫る。スモア、瞬発力が鍛えられます。苦労があるだけに、特ダネを書いた時の充実感は格別です。

### 狙うぞ特ダネ!? たなかひさし



### 新聞とわたし

プロ野球が好きで、スポーツ欄を熟読するようになったのは小学四年のころ。中学校で新聞記事をノートに写す宿題が出されてから、一面や中面の記事にも関心が高まりました。

毎朝、ポストから新聞を取ってきて、興味がある記事を探して十五分は

### 社説のまとめ方、作文に活用

ど目を通します。最近の注目はトランプ米大統領の一連の報道。北朝鮮問題など今後が心配で、目が離せません。以前、社説のまとめ方をまねて作文を出したら、先生に「誰かに手伝ってもらったのか」と言われるほどうまく書けました。所属する新聞同好会の活動でも、新聞は役立つアイテムです。今後は野球や鉄道など校外での取材にも挑戦し、充実した紙面を作りたいです。(滋賀県立長浜北星高一年)

NIE全国大会名古屋大会は、8月3、4日に名古屋市中区で開かれます。

